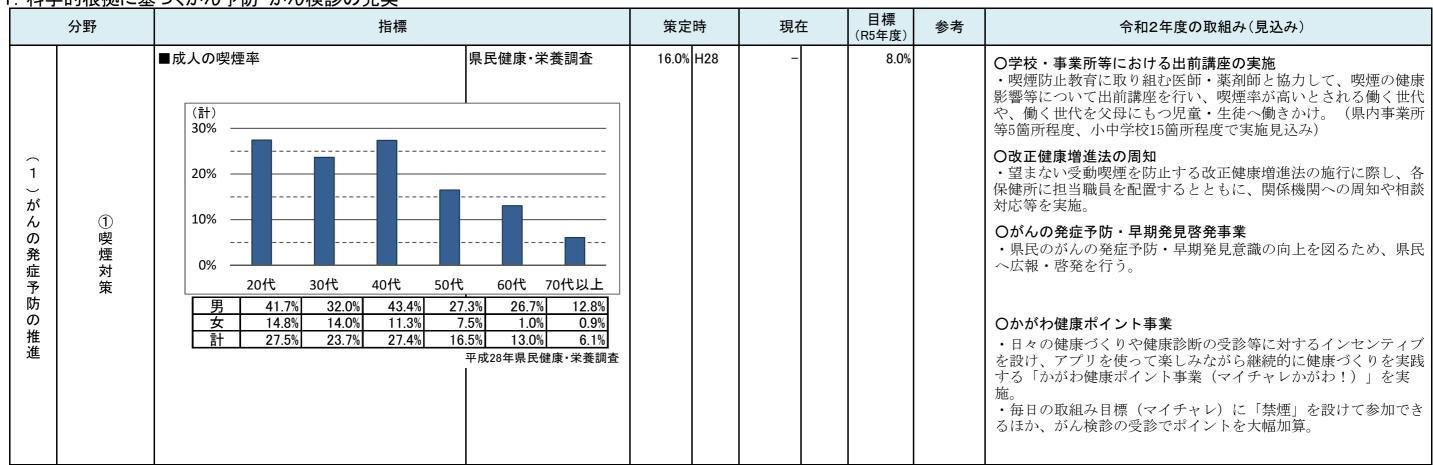
第3次香川県がん対策推進計画に基づく進行管理及び令和2年度の取組みについて

全体目標

■計画における数値目標 □進行管理のための参考指標

分野			抖	旨標						策定	₿時	現る	Ξ	目標 (R5年度)	参考	
	■がんの年齢調整死 男性 女性	亡率(75	歳未満)				センター		101.9 53.1	1	83.6 51.4	H30	88.2 47.4		
	(参考)がんの年齢	静調整死 ┃ 全か		曽減率(性別・部	(単			】 :(人/10 #	万人)増減 乳房						(参考)がんの死亡者数 (参考)がんの罹患者数 (1年間の新規患者数) (1年間の新規制度の対象) (1年間の新規制度の対象) (1年間の新規制度の対象) (1年間の対象) (1年間
		男	女	男	女	男	女	男	女	女	女					会がん 1,769 1,254 3,023 全がん 4,821 3,559 8,3
	平成17年(2005)	110.2	59.3	19.9	9.9	11.9	5.7	22.9	5.5	8.9	3.1					胃 261 153 414 胃 769 393 1,1
	平成30年(2018)	83.6	51.4	11.4	5.8	9.8	6.4	18.6	6.2	8.1	4.7					大腸 178 167 345 大腸 594 500 1,0
	増減率(%)	-24.1	-13.3	-42.7	-41.4	-17.6	12.3	-18.8	12.7	-9.0	51.6					肺 438 193 631 肺 809 381 1,1
	(参考)全国(2018)	88.6	56.0	11.2	4.4	12.9	7.3	20.0	6.2	10.7	4.9					乳房 91 91 乳房 739 7
	(参考)全国との差	-5.0	-4.6	0.2	1.4	-3.1	-0.9	-1.4	0.0	-2.6	-0.2					子宮 57 57 子宮 226 2 平成30年人口動態統計 全国がん登録(201
							三国	エかん研究:	センターだ	がん対策情	報センター					

1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実



■計画における数値目標 □進行管理のための参考指標

	分野	指標	策定	時	現在		目標 (R5年度)	参考	●計画における数値日標 □進行管理のための参考指標 令和2年度の取組み(見込み)	
	① 喫煙対策									○働き盛りの健康づくり支援事業 ・全国健康保険協会香川支部と連携して、「健康経営」の手法を活用し、中小企業の従業員とその家族の生活習慣の改善やがん検診・特定健診の受診率向上を図るなど健康づくりを推進。禁煙に関する取組みも評価し促進。(健康宣言事業所数 317事業所(8月末現在)) ○県民への普及啓発、情報提供等 ・県ホームページで禁煙治療可能な医療機関の情報を掲載するとともに、各種イベントや事業所で肺年齢測定器等を活用した健康チェックを実施。
(1)がんの発症予防の推進	()	□野菜摂取量(20歳以上) □食塩摂取量(20歳以上) □日常生活における歩数(20~64歳) 男性 女性 □運動習慣者の割合(20~64歳) 男性 女性 □生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合 男性 女性	県民健康·栄養調査	271g H28 9.5g 7,825歩 6,315歩 22.5% 14.6% 14.9% 6.5%		- - - -			350g [※] 8g [※] 9,000歩 [※] 8,500歩 [※] 36% [※] 33% [※] 12.4% [※] 6.7% [※]	○かがわ健康ポイント事業 (再掲) ・日々の健康づくりや健康診断の受診等に対するインセンティブを設け、楽しみながら継続的に健康づくりを実践する「かがわ健康ポイント事業」を実施。 ○働き盛りの健康づくり支援事業 (再掲) ・全国健康保険協会香川支部と連携して、「健康経営」の手法を活用し、中小企業の従業員とその家族の生活習慣の改善やがん検診・特定健診の受診率向上を図るなど健康づくりを推進。 ○広報誌等における周知啓発 ・健康づくりセミナーや広報誌、健康相談等により、がん予防に効果的な生活習慣や食習慣を啓発。 建やか香川21ヘルスプラン(第2次)の目標値(R4年度)
	1 +-	□肝炎ウイルス検査 B型肝炎ウイルス検査受診者数 □HTLV-1抗体検査数 □子宮頸がん予防ワクチン接種者数	健康増進事業に基づく肝炎ウイルス検診の事業実績報告 子ども家庭課調 地域保健・健康増進事業報告	6,250 6,253 7,381 79		6,287 6,288 6,753 190	H30年度 H30 H30			 ○肝炎ウイルス検査事業 ・県内の保健所及び指定医療機関でB型肝炎・C型肝炎ウイルス検査を実施。 ○肝炎医療費助成事業 ・B型肝炎患者、C型肝炎患者等に対する抗ウイルス治療にかかる医療費の助成を実施。 ○陽性者フォローアップ事業 ・B型肝炎・C型肝炎ウイルス陽性者に対して、医療機関への受診・受療勧奨、及び受診状況の確認を実施。 ○感染に起因するがんに関する周知啓発 ・HPVワクチン接種等については、国の動向を注視しながら、定期接種であることの周知など、子宮頸がんの正しい知識の啓発のため、マンガ本及びチラシを作成し配布。

■計画における数値目標 □進行管理のための参考指標

	分野 指標			策定	 現る	Έ	目標 (R5年度)	参考	令和2年度の取組み(見込み)
(2)が	①がん検診の受診率の向上	■がん検診受診率※40歳~69歳(子宮がんは20歳~69歳) 胃がん 大腸がん 肺がん 乳がん 子宮頸がん	国民生活基礎調査(3年毎)	45.6% 46.3% 54.9% 49.3% 49.0%	45.6% 46.6% 55.4% 51.2% 48.4%	R1	- 55%以上	(全国平均 (R1)) 42.4% 44.2% 49.4% 47.4% 43.7%	 ○がん検診の受診啓発等 ・がんの発症予防・早期発見啓発事業と併せて、受診啓発ポスターや啓発資材を作成、配布。 ○ピンクリボンかがわ県協議会等と協働した乳がん検診啓発・乳がん月間である10月に丸亀町商店街のライトアップイベントの開催(10月1日~10月31日予定) ・かがわマンモグラフィサンデーでの受診者に対してピンクリボングッズを配布。 ・企業グループ「香川県がん検診受診率向上プロジェクト」によるポスター・リーフレットの作成、配布。 ○かがわマンモグラフィサンデー事業・乳がん月間である10月の休日等に、香川県総合健診協会をはじめとする検診機関・医療機関の協力により、乳がん検診「かがわマンモグラフィサンデー」を実施。また、かがわマンモグラフィサンデーに合わせて子宮頸がんの検診車を派遣。 ○女性がん検診受診率向上のためのナッジ理論活用講習会の開催・働き盛り世代の女性に多い乳がん及び子宮がんのがん検診をモデルケースにナッジ理論を個別受診勧奨・再勧奨の勧奨方法へ導入し、効果的な勧奨によってがん検診と精密検査の受診率向上を図るための講習会を開催。(7月22日)
の早期発見・早期治療の推進	②精密検査の受診率の向上	□がん検診精密検査受診率(各部位) 胃がん(エックス線) 胃がん(内視鏡) 大腸がん 肺がん 乳がん 子宮頸がん □精密検査未把握率 胃がん(エックス線) 胃がん(内視鏡) 大腸がん 肺がん 調がん 記がん □精密検査未把握・許容値:10%、 ・精密検査未把握・計容値:10%、	地域保健・健康増進事業報告 率 握者数/要精密検査者数 目標値:5%とされている。 遅率が高い場合、要精密検査者 分に行えていない可能性があ	77.1% 88.2% 66.9% 92.7% 93.3% 78.5% 4.9% — 16.7% 2.5% 4.8% 6.7%	81.7% 92.1% 95.2% 74.1% 91.8% 95.6% 87.0% 2.0% 0.6% 4.3% 1.9% 2.4% 4.2%	H30	90%以上	(全国平均 (H30)) 82.0% 92.0% 68.6% 82.9% 88.9% 56.2% (全国平均 (H30)) 11.1% 6.3% 17.8% 10.8% 8.1% 32.0%	 ○がん診療施設設備整備事業 ・がん検診実施体制の整備のために必要な医療機器及び臨床検査機器等の整備に要する経費を補助。(昨年度実績2医療機関) ○がん検診の受診啓発等(再掲) ・精密検査の重要性についても普及啓発を行う。 ○精密検査協力医療機関名簿の作成・周知 ・要精密検査と判定された者への情報提供に資するため、精密検査に必要な要件を満たす医療機関からの届出により、名簿を作成、周知。
	③がん検診の精度管理の充実	肺がん 守項目が示されて 乳がん 受診者へ説明する	健康福祉総務課調 高いがん検診の実施に必要な遵 ている。 例:検診の不利益など べき項目、検診を医療機関等に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	14/17 15/17 13/17 15/17 12/17	17/17 17/17 17/17 17/17 16/17 17/17	R1年度			○5がん各部会の開催 ・市町のがん検診の結果を評価し、国の指針に基づき適切な精度 管理を行うため、がん種ごとに部会を開催。 ○がん検診の精度管理調査及びがん検診従事者講習会 ・がん部会によるがん検診従事者講習会を開催予定。 ・市町のがん検診の精度管理調査を市町及び受託医療機関に対し 実施。 ○がん検診精度管理推進会議の開催 ・検診・精密検査の受診率の向上や精度管理の充実のための検討 や情報共有を実施予定。(H30年度は国立がん研究センター雑賀 先生に講演いただき、市町の検診の精度管理について分析)

<u>2. 患者本位のがん</u>)医療の実現					■計画における数値目標 □進行管理のための参考指標
分野	指標	策定時	現在	目標 (R5年度)	参考	令和2年度の取組み(見込み)
(1)がんの各治療	□キャンサーボードで検討がなされた人数 □外来化学療法加算の算定医療機関数 □がんゲノム医療連携病院数 (参考)がん診療連携拠点病院等の指定状況 区分 医療機関名	I月1日~令和5年	使(K3平及)		 ○新指針によるがん医療の提供 ・国による拠点病院等の指定更新が行われ、拠点病院等では、今年度より新たな指針に基づき、がんの各治療法等の充実や多職種でのチーム医療に取り組んでいる。 ○がんゲノム医療の提供体制整備 ・香川大学医学部附属病院及び県立中央病院では、がんゲノム医療連携病院として、がんゲノム医療を提供する体制を整備。 	
の各治療法等の	地域がん診療連携拠点病院 香川労災病院 令和2年	4月1日~令和5年 月1日~令和5年 月1日~令和5年	3月31日			○免疫療法の正確な情報の周知啓発・免疫療法の正確な情報や、県内拠点病院等における実施状況を 周知。
(2)それぞれのがんの特性や世代に応じた対策	(参考) 小児・AYA世代(思春期・若年成人世代)のがん罹患者数 (1年間の新規患者数) 0-14歳 15-19歳 20-29歳 30-39歳 男 7 3 13 47 女 6 2 26 84 計 13 5 39 131 全国がん登録(2017)					○がん患者等の妊孕性温存治療費の助成 ・子どもを産み育てることを望むがん等の患者が将来に希望を持って治療に取り組めるよう支援するため、生殖機能を温存する治療(妊孕性温存治療)に要する費用の一部を助成。・医療従事者や相談対応者向けの研修会の開催を医療機関に委託。(開催時期は現在のところ未定) ○自宅や介護施設で療養生活を送る人への対応・在宅医療・介護を担う人材の育成や、多職種連携を促進。 ○小児・AYA世代のがん患者のニーズへの対応・拠点病院において、平成30年7月に改正された国の指針のも
00 泉	■がん登録の精度向上 全国がん登録、地域がん登録	k H25	H29			と、AYA世代のがん患者の治療、就学、就労、生殖機能等の状況 や希望を確認した上で、診療等を実施。
3	DCN(DCI)** DCO	9.6% 5.4%	3.6% 2.4%	10%以下 5%以下	l	○全国がん登録事業等の実施・香川大学医学部附属病院内の香川県がん登録室において実施。
)がん登録の推進	※ 平成28年登録データから、統計手法が変更され、DCNに代わってDCIが用いら とされている。		○がん登録情報の活用・全国がん登録の集計が確定したことに伴い、がん登録情報の利用に必要な手続きについて、県ホームページや市町がん対策担当者意見交換会等で周知。・がん検診啓発資材等に、がん登録情報を活用。			

3. 尊厳を持って多	安心して暮らせる社会の構築				■計画における数値目標 □進行管理のための参考指標
分野	指標	策定時	現在	目標 参	参考 令和2年度の取組み(見込み)
(1)がんと診断された時からの推進	■緩和ケアチームを有する医療機関数 ■緩和ケア病棟(病床)を有する病院 □緩和ケア研修の修了者数 うち拠点病院以外の医師・歯科医師数 □緩和ケアチームによる年間新規診療症例数 □緩和ケア病棟(病床)の延べ入院患者数 型緩和ケア病棟(病床)の延べ入院患者数	12病院 4病院 218人 218人 - 748件 H29年度 377人 H28年度	12病院 H30 3病院 R1 105人 R1年度 8人 R1年度 933件 H30年度 481人 R1年度	15病院 5病院	○緩和ケア研修会の開催 ・拠点病院において、がん診療に携わる医師、歯科医師及びその他の医療従事者に対して、国の指針に基づく緩和ケア研修会を開催。今年度よりすべての病院で、平成29年12月に改正された新指針に基づき実施。
(2)がんに関する相談支援や情報提供体制の充実	□相談支援センターの認知度 □相談支援センターの相談件数 □病名告知や治療方針についての患者の理解度 相談支援センターでの相談内容 割合 食事・服薬・入浴・運動・外出など 24.8% 転院 12.2% 医療費・生活費・社会保障制度 11.4% 在宅医療 9.0% ホスピス・緩和ケア 7.1% がんの治療 5.9% 不安・精神的苦痛 4.9% 症状・副作用・後遺症 4.1% 上記以外 20.5%	32.2% H27 9,869件 H29年度 91.8% H27	47.2% R1 6,722件 R1年度 91.9% R1		○「地域の療養情報」の作成・配布 ・がんと診断された方が必要な情報を得られるよう、拠点病院や 市町、患者会等と協力して周知・配布。 ○がん患者等に対する相談業務委託 ・がん患者等と同じ立場の者による相談(ピアサポート)の機会を設けることにより、がん患者等の療養生活等に対する支援を実施。 ○がんピアサポートセミナーの開催 ・昨年度に引き続き、ピアサポートを充実させるための知識・技術の向上を図るためのセミナーを開催予定。 ○がん診療連携拠点病院等への専門家等派遣 ・がん患者やその家族の相談や療養生活の質の向上につながる相談等に対応する専門家を派遣。
(3)社会連携に基づくがん対策・がん患者	□地域連携クリティカルパスの実施件数 □自宅等**で亡くなるがん患者の割合 ※自宅、介護老人保健施設、老人ホーム *** ** ** ** ** ** ** ** **	H28年度 15.5% H28	184件 R1年度 16.7% H30		 ○拠点病院等における地域連携の促進 ・拠点病院等において、地域の医療連携のツールである「地域連携クリティカルパス」や「私のカルテ」を運用。 ○自宅や介護施設で療養生活を送る人への対応(再掲) ・在宅医療・介護を担う人材の育成や、多職種連携を促進。 ○人生の最終段階における医療・ケアの普及啓発 ・人生の最終段階における医療・ケアを県民が自らの希望に基づき決定できる体制の確保を図るため、関係者の資質向上を目的とした医療従事者向け研修や県民向け公開講座(9月26日)を開催予定。
(4)がん患者等を取り巻く社会的な問題への対応	□がんと診断後も仕事を継続している割合 患者二一ズ調査	66.8% H27	70.5% R1		 ○がん患者等の仕事と治療の両立支援 ・香川県地域両立支援推進チームによる、がん患者・経験者の仕事と治療の両立支援を実施。 ・治療と就労の両立について、香川労働局や協会けんぽ香川支部と協力し、事業者へ働きかけ。 ○療養中の生徒等への支援 ・患者やその家族の意向を確認し、入院、療養中の教育支援を実施。

4. がん対策を支える基盤の整備

4 <u>. がん対策を支える基盤の整備</u>						■計画における数値目標 □進行管理のための参考									
	分野	分野 指標			時	現在		目標 (R5年度)	参考	令和2年度の取組み(見込み)					
	1	□高度がん養成基盤プログラム受講者数	香川県がん診療連携協議会	12名	H29年度	14名	R2年度			〇がん医療に専門的に携わる医療従事者の育成 ・香川大学等において、「中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム」によるがん医療に専門的に携わる医療従事者を育成。					
	医者 療の 従育 事成									○地域がん診療連携拠点病院支援事業・拠点病院が行うがん医療に従事する医師等への研修、がんの相談支援及びがんに関する情報提供等に対し補助。					
	(2)が 推 数 育 の	□がん教育の実施学校数 小学校 中学校 高校	建康福祉総務課調	114/162 42/74 12/42	H29年度	104/157 48/73 6/42	R1年度			○がん教育推進事業等の実施・県内公立中学校の希望校に対して、ゲストティーチャーを派遣。・がん教育推進委員会等で「香川県がん教育の手引き」に基づく授業の実施報告と内容検討を実施。・来年度以降のがん教育の必修化等を踏まえ、教育委員会において、教職員対象のがん教育研修会を開催予定。					